

共同助成(山梨県遊技業協同組合)

## 「ギャンブル等依存症の理解を深めるためのシンポジウム」事業

### 依存症への偏見をなくし、地域社会全体で回復や社会復帰を支える必要性を訴える

近年、ギャンブル等依存症問題が注目されるようになったが、日本におけるギャンブル等依存症からの回復環境は未だ整っていないのが現状である。ギャンブル等依存症を正しく理解するために、専門家、家族会や支援組織、医師らによる講演やパネルディスカッションを実施し、新聞紙面で紹介する取り組みが山梨県で実施された。



「ギャンブル等依存症の理解を深めるためのシンポジウム」を告知するチラシ



シンポジウムには多数の参加者が集まった

#### 依存症とは何かについて理解を深め、社会全体で正しい知識を共有する

「山梨ギャンブル等依存症を考えるシンポジウム実行委員会」は、山梨県甲府市に本部を置く全国有数のギャンブル依存症回復支援施設である一般社団法人「グレイス・ロード」と「山梨日日新聞社」で構成される組織である。国内のギャンブル等依存症対策支援において地域格差が非常に大きくなっていることが問題視されているが、同委員会ではギャンブルをはじめ、依存症とは何かについて理解を深めるためのシンポジウムを開催し、山梨県内の地域連携の現状を知り、社会全体で正しい知識を共有していくことを目的として活動している。

「グレイス・ロード」によると、県外からのギャンブル等依

存症に関する相談は2018年には年間約500件だったものが、2019年は約750件、2020年は10月時点で750件を超えて増え続けている。また、県内からの相談も全体件数の15~20%を占め、対策が急務となっている。さらに、ギャンブルだけでなく、インターネットやゲームに依存する若者が急増し、専用ダイヤルを設けるほどになっている。

こうした背景から、ギャンブル等依存症で苦しんでいる当事者やその家族に対する支援策として何ができるのかを考え、この病気に対する理解を深めるきっかけにしたいと、同委員会では、ギャンブル等依存症の理解を深めるための普及啓発シンポジウムを企画し、実施した。新聞広告などで広く参加者募集をしたことで、電話での問い合わせも多く、様々な方々の参加につながった。

#### ギャンブル等依存症についての講演と当事者や専門家によるディスカッション

2021年10月30日に甲府市の山日YBS本社で開催したシンポジウムには約80人の参加者があったほか、YouTubeでの視聴者も150人あった。シンポジウムでは第1部は山梨県立精神保健福祉センター所長の志田博和さんによる「ギャンブル等依存症について」と題した基調講演で、ギャンブル等依存症とはどのような病気なのか、回復できる病気なのかなどについてのお話があったほか、ネットやゲーム依存についてもふれてもらった。

第2部はパネルディスカッションで志田博和さん、「グレイス・ロード」甲斐サポートセンター長の池田文隆さん、「全国ギャンブル依存症家族の会」山梨世話人の望月裕さん、カウンセリングオフィス「ハートフル」代表で臨床心理士・公認心理師の稲永澄子さんがパネリストとして参加した。「『依存症(ギャンブル、ネットゲームほか)を考える』〜みん

なでつくる山梨モデル〜というテーマで話し合わせ、それぞれの立場から経験や希望する施策などが語られたり、意見を交えたりした。山梨県内においては「グレイス・ロード」が取り組むギャンブル等依存症回復支援の先進事例「山梨モデル」が知られているが、それをさらに発展させて地域社会でできる支援があるのではという視点で、パネルディスカッションが展開された。会場では、当事者の家族の話聞きながら、涙する参加者もいた。シンポジウム終了後には、山梨日日新聞紙上に採録記事が掲載されたほか、YouTubeによる録画配信も行われ、当日の様子が広く周知された。

#### 山梨県遊技業協同組合より

依存症は病気であるという認識を広げ、偏見をなくしていくことが社会的に重要だと考え、支援させていただきました。



2021年11月30日付の山梨日日新聞に掲載された採録記事

助成団体:山梨ギャンブル依存症を考えるシンポジウム 実行委員会 <https://www2.sannichi.co.jp/izonshou/>



#### 助成によって記事掲載やYouTubeでの録画配信が可能に

今回のシンポジウムは、依存症への理解が深まる貴重な機会だと感じました。POSCの助成事業は社会的にも意義のあるものと認識しております。今後も依存症への偏見をなくし、社会全体で「回復可能な病」として正しい認識が広まるよう、継続的に取り組んでいきたいと願っています。今後も依存症への理解がより一層深まるよう努めていきたいと思っております。

山梨ギャンブル依存症を考えるシンポジウム 実行委員会  
代表者 西川 新さん